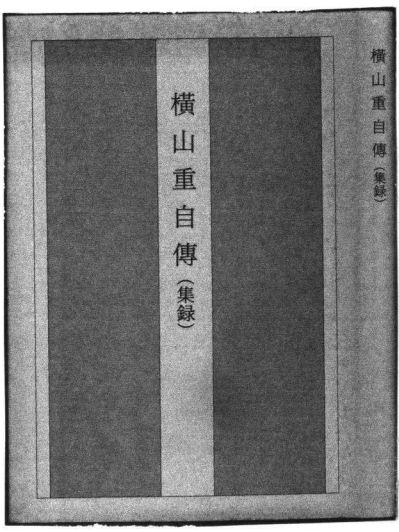


横山重 よこやま じゅう 國文學者、歌人。明治二十九年一月二十一日長野縣東筑摩郡片丘村生れ、昭和五十五年十月八日没（八六六—一九八〇）。筆名よこやま、よこ山、横山達二等。松本中學校在學中島木赤彦に出會ひ、上京して『ロアテラビキ』の編輯を手傳ふ。大正十一年慶應義塾大學文學部卒。卒業論文は『ヘブアトリチエ』の華を書いた答の四枚半の物であるが、擔當の阿部次郎は満點を附したといふ。十二年雑誌『思想』に投じた論文から知性哲郎の知遇を得、慶大縁科教員となる。また同郷の知人が始めた大岡山書店に關はり、経営と共に自らも校訂本を出版、爾後校訂學者、藏書家として知られた。

『横山重自傳（集録）』（平成六年八月二十一日京秋津藩）がある。



横山重自傳（集録）

横山重自傳（集録）